

平成30年度 学習指導方針（スクールポリシー）

石川県立小松商業高等学校

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など含む）

- ① 社会人基礎力を身につけている生徒。
- ② 将来のスペシャリストとしての道を歩むことのできる生徒
- ③ 地域社会の発展に積極的に貢献できる生徒

『学習指導方針（スクールポリシー）』

（1）社会人基礎力を身につけさせる。

学習指導においても基本的な生活習慣の確立を大切にしながら、基礎学力と専門知識の確実な定着を図る。さらに、アクティブラーニングの視点による授業改善を進め、主体的・対話的で深い学びを実現し、学んだ知識・技能を活用する力を育成することにより、社会人として求められる基礎力を身につけさせる。

（2）高度な資格取得を目指し、将来のスペシャリストとしての進路実現を図る。

教科商業の授業においては、スキル向上の指標として、全国商業高等学校協会の各種上級資格や国家試験等の資格の取得を奨励する。また、社会のグローバル化への対応として、英語検定などの資格取得を奨励する。これらの資格取得を通し、将来のスペシャリストとしての基礎を身につけさせる。

（3）地域との連携を深め、地域社会の発展に貢献できる力を身につけさせる。

課題研究や地域社会でのイベントへの参加などを、生徒が身につけた力を活用する機会として捉え、地域社会の発展に貢献できる力を育成する。また、地域での活動を通して、ふるさとを愛し、地域社会の発展に参画しようとする意欲を育てる。